



特定非営利活動法人骨髄バンクサポート新潟 ニュースレター Vol.4(2010年2月発行)

## 設立1周年記念 第18回ピアノ三重奏の夕べ

# サンクト・フローリアン三重奏団チャリティ・コンサート



小澤洋介さん(チェロ)、フィリップ・ヤングさん(ピアノ)、三戸素子さん(ヴァイオリン)  
(平成21年11月11日／上越市頸城区のユートピアくびき希望館)

演奏仲間を白血病で亡くしたことから始まった骨髄バンクのチャリティ・コンサートは今年で18回目を迎えました。上越では2回目の演奏会です。平日の夜にも関わらず251名の方にお集まり頂きました。

演奏曲『ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲第2番ト長調作品1-2』、『コープラント:ヴィテブスク「ユダヤのテーマによる習作」』、『シューベルト:ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調作品99D898』。アンコールには決まって演奏するという『からたちの花』まで、観客を魅了する感動的なひと時となりました。素晴らしい音楽とともに骨髄バンクの活動が皆さん的心に響き続ける事を願っています。(事務局)

### 【皆様から頂いた感動のメッセージ】

□職場の仲間に紹介してもらい軽い気持ちで行ったのですが、プロフィールを見て世界的に活躍している方々と知り驚いたり、貴重な時間とうれしくなったりでした。演奏が始まるとそれが美しい音色なのはもちろん、3つの楽器で作り出す音の美しさに感動しました。また先人たちの素晴らしい感性と頭脳に畏敬の気持ちをもちました。今後も機会があるごとに本物を見たり聞いたりして、感性を高めていきたいと思います。また、皆様の不断の活動にも敬意を表し、できることは協力ていきたいと思っています(松本直美さん)

□世の中には、誰かのために何かしたい役に立ちたいと考える人は多い。金品の寄付、ボランティア活動など方法は色々ある中で、音楽を通してそれを届け伝えるには、情熱と思いが本物でないと難しい。世界的に有名な3者の演奏は当然本物だった、感動感激した、素晴らしいかった。エピソードを聞き、胸に熱いものがこみ上げ骨髄バンクに関わっている人たちの顔が浮かび、若く亡くなった友人たちを思い出した。終了後、私が考えたのは一度しかない自分の人生への向き合い方。姿勢を正し真っ直ぐに生きたい。誠実でありたい、そう感じた1日だった。(匿名M)

□普段は聞けないような本格的な楽曲に感動しました。特にアンコール曲は涙が出るくらい良かったです。(50代女性)

□3人の息がぴったり合った情熱的な演奏で、素晴らしいかったです。アンコール曲では自然に涙が流れたほど心に沁み入りました。(40代女性)

□凄いよ!凄いよ!特にピアノが凄かったです。(匿名)

□2曲目は、なかなか難しかったですが、全体的には素敵な演奏でした。(60代女性)

□とにかく良かった。感動の2時間でした。(70代女性)

□3曲目が宝石箱を開けたようなとても素敵な曲でした。アンコール曲は一転して日本の曲で、また良かったです。(20代女性)

□演奏者の方たちが楽しそうに演奏されていたので、見ている私たちも引き込まれました。

□曲の解説もありなるほどと思い聞くことが出来ました。

□また演奏を聴きたいです。来年も是非開催して下さい。(50代女性)

「命を守る」骨髓バンクの活動は、多くの個人・団体・企業に支えられています。

皆様に感謝申し上げます。

### グローバル・ボランティア・デー

ブルデンシャル・グループの全社員が、毎年10月にボランティア活動を行うグローバル・ボランティア・デー。ブルデンシャル生命新潟支社では「心に残るボランティア」をテーマに、「もっと身近に。もっと知ろう骨髓バンクのこと」と題して勉強会を開催し、骨髓バンク命のアサガオ新潟の丹後会長や、NPO法人骨髓バンクサポート新潟の皆さんをお招きしてお話を伺いました。勉強会とその後実施した街頭での登録呼びかけには、支社社員とその家族、総勢50名が参加しました。参加した社員からは、「お子さんの白血病との闘病の様子を真剣に伝えてくれた高野さんにお礼を言いたい」、「患者さんの不安やその家族の苦しみをありのままにお話してくださり心を打たれた」等の声があり、私自身も骨髓バンクの活動に対して、何ができるのかを考えさせられた貴重な経験となりました。新潟支社ではこのような機会を通じて、引き続き骨髓バンクの登録推進に貢献していきたいと考えています。

(斎藤 智康 様)

### ブルデンシャル生命保険株式会社新潟支社 様



新潟市古町街頭で行った募金活動では、社員ご家族のお子さんも参加して、頑張ってくださいました。同社は日本で初めてドナー保険を導入した企業であり、ドナー休暇制度の導入、関東大学箱根駅伝で骨髓バンクのぼり旗の寄付など、企業が一丸となって、社員参加型の支援を行っていらっしゃいます。(事務局)

### イオン黄色いレシートキャンペーン

2001年より実施しています「イオン黄色いレシートキャンペーン」は、地域で活躍されているボランティア団体さまをお客さまとともに応援する活動です。毎月11日の「イオンデー」に、お客様にお渡しする黄色いレシートを店内の専用BOXに投函いただき、そのレシート合計金額の1%分を各ボランティア団体さまの希望する品物で寄贈させていただいている。この活動の根源にあるのは地域社会との連携、すなわち「お客様とともに行動する」というイオンの不变の哲学です。今後、ますますのご隆盛をご祈念申し上げます。

(店長 川瀬 裕正 様)

### イオンリテール株式会社 ジャスコ上越店 様



今回は入院している患者さんに元気になってもらいたい、とバンダナとウエットティッシュを200セット頂き、上越市の新潟県立中央病院、長岡日本赤十字病院、新潟市のにいがたがんセンター(写真左から)で、血液難病等治療中の患者さんへお贈りしました。

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を通じ闘病中の患者さんを支援する活動は、これからも継続して行います。毎月11日、ジャスコ上越店で発行される黄色いレシートは、当団体のボックスへ投函してください。(事務局)

## 寄付付き自動販売機の設置

(有)エム・ケイ・メディカル 様 ソウマ・デンキ 様 桧屋本店 様

### 【設置場所】

- 小国診療所わき(長岡市)、榎本外科医院わき(三条市)、国立療養所さいがた病院前〔上越市〕=写真、の各エム・ケイ薬局
- ほうとうらーめん土橋店(上越市土橋)
- ホンダウォーク上越店(上越市飯)



寄付付き自動販売機売り上げの一部が当団体に寄付されます。引き続き、設置してくださる方を募集しております。(事務局)

## 企業・団体会員

順不同

がんの子供を守る会新潟支部 様

ハセガワ不動産センター 様

石田医院 様

太平洋特殊鋳造労働組合 様

新潟県医薬品卸組合 様

船津商会 様

小千谷ライオンズクラブ 様

知命堂病院 様

サクラメディカル 様

新潟総合テレビ 様

大光銀行 様

平林塗装 様

白砂精工 様

折笠歯科医院 様

新潟市社会事業協会信楽園病院 様

双葉自動車 様

NTT労働組合上信越総支部上越分会 様

## 個人会員・寄付者紹介

(前回掲載から 12 月まで)

### 【賛助会員】

柳 和浩 様

梅沢 由美 様

柳 幸輔 様

丸山 トヨ子 様

舟波 修 様

高橋 通子 様

藤澤 貞 様

高館 紀子 様

石野 洋 様

松浦 洋子 様

今井 恭 様

細野 保子 様

北 康子 様

井澤 敏子 様

大島 誠 様

田中 昌義 様

伊多 横夫 様

笠原 真理 様

伊多 ツギ 様

久保田 勝 様

仲村 和人 様

伊東 フミ子 様

小嶋 雅明 様

山口 こずゑ 様

高沢 和之 様

松口 敏夫 様

伊藤 道代 様

安藤 早苗 様

大野 令子 様

田中 登志夫 様

齋木 賢秀 様

茂野 真知 様

武藤 静子 様

樋熊 みちよ 様

西山 和代 様

二所宮 智子 様

山本 孝子 様

木澤 百合子 様

永井 千衣 様

星野 登美子 様

松尾 久美子 様

### 「活動に共感しています！」

上越市学校給食調理員は、市内の小中学生に給食を作るだけでなく、教育現場での食育に携わりながら、独自で「給食フェア」を開催し給食の実情を紹介したり、地域のイベントに参加したりしています。4年前から「市と姉妹都市の観光と物産展」で懐かしい給食の味を提供してほしいと依頼を受け、今年も10月10、11日に揚げパンの販売を行いました。

例年売り上げは社会福祉の活動に役立てて頂いてきました。今回、役員が高志小学校に勤務していたこともあり、骨髓バンクサポート新潟が「未来の命のために」活動されていることを知り、「未来を担う子供たちのために！」を合言葉にしてきた私たちの思いと共に「心」を感じ、活動に役立てていただきたいと考えました。これからも皆様の活動を支援とともに、私たち調理員は、子供の健やかな成長を応援し続けていきたいと思います。

(部会長 武藤裕子さん)



【寄付】 小野 美知子様 山崎昭八様 加我牧子様 匿名 上越市職労学校給食調理員部会 様

新潟県立翠江高校定時制2Bクラス(代表 山上伸人) 様 JAPAN サッカーカレッジ 様 北越銀行まごころの会 様

BSN愛の募金 様

## ドナーさんからのメッセージ

骨髓登録をした日から約4か月で私は候補者に選ばれました。まるで一次試験に合格したような気持ちでしたが、よく考えてみると、これは人の命に関わることであると改めて感じ、身が引き締まりました。一番大事な最終同意の際には、担当医師との日程調整でコーディネーターさんにご苦労をかけましたが、何とか調整して頂き、無事、入院までこぎつけました。



[上越市 土居博子さん]

入院中は夫と子供たちが私のいない家で家事を分担して一生懸命頑張ってくれました。やはり、家族の協力なしには提供はできません。少しだけ心配していた、自分の体への負担は、私の場合はまったくといっていいほどありませんでした。退院したその日から家中を掃除するなど、平気で家事をぱりぱりこなせました。

今は、患者さんからのお手紙を心のどこかで待ちながら過ごしています。

## 骨髓バンクサポート新潟活動報告

### ■ドナー登録会

9月27日 柏崎総合体育馆(登録7名)

### ■献血並行

9月18日 建設業協会糸魚川支部(登録30名)

10月6日 阿賀野市役所(登録9名)

11月12日 新潟産業大学(登録2名)

1月12日 国立病院機構新潟病院(登録10名)

### ■ドナー登録説明会

10月4日 プルデンシャル生命保険新潟支社

### ■説明員研修

10月6日 登録会場にて

### ■普及啓発

9月23日 くびき野市民活動フェスタでチャリティバザー

### ■患者支援

10月17日 イエローレシート寄付贈呈式

10~11月 県内3病院へバンダナ贈呈

### PICK UP 「語り部事業」

患者やその家族、ドナー経験者が学校や企業等に出かけ、病気の経験、骨髓提供、骨髓移植の説明を通して、骨髓バンクの必要性をお話しています。学校や企業で企画される場合、ぜひお声かけください。実施校から寄せられた感想文を紹介します。

#### 加茂暁星高校 衛生看護専攻科(10月31日)

講演で印象に残っているのは、斎木さんが「どんな姿でもいいから生きていってほしかった。」と言った言葉で、その後スライドの写真を見て胸が熱くなりました。

どんな形でも生きてほしいという思いは、教科書では学べない病気と闘う子どもの親の気持ちなんだと思いました。また、骨髓移植は多くの人によって行われている事が分かりました。移植を待っているるために、慎重に血液を運ぶ移植コーディネーターの存在も知りました。



私も思いやりを持ち、患者、家族をしっかりとサポートできる看護師になれるように頑張ろうと思いました。(衛生看護科4年、女子)

#### 埼玉県志木市立宗岡中学校(10月21日)

今まで骨髓移植の事をよく知りませんでしたが、斎木さんの話を聞いて、命の大切さ、骨髓バンクの大切さを知る事が出来ました。血液型が違っても骨髓移植が出来ると聞いて驚きました。骨髓提供を待ち望んでいるのために、私は大人になったらドナーになって、たくさん的人に元気になってもらいたいです。(中学3年、女子)

### 日本骨髓バンクの現状(平成21年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者	4,345	3,110	352,047	449,049
内新潟県	-	20	9,698	-
患者登録者	179	243	2,527	29,002
内新潟県			20	393
骨髓移植例	107	126	-	11,178
内新潟県居住者				218

日本骨髓バンクNEWS Vol. 35 発行。巻頭インタビューに、「市川團十郎さん」登場です。

### 入会のご案内

#### <年会費>

[正会員] 個人1口 2000円／団体1口 10000円

・ボランティア活動、総会での議決権あり

[賛助会員] 個人1口 2000円／団体1口 10000円

・資金支援・総会での議決権なし

振込先口座名 NPO 法人骨髓バンクサポート新潟  
郵便振替口座番号 00500-5-97142

特定非営利活動法人 骨髓バンクサポート新潟

〒943-0805 上越市木田2-3-11-5 電話 025-546-7337 FAX 025-546-7338 Mail kbsniigata@gmail.com